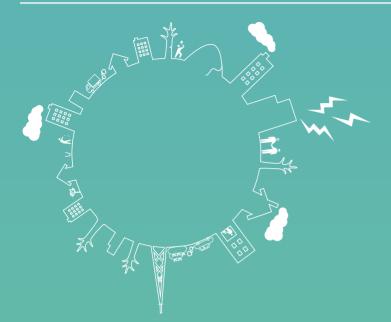
第3回 みんなで考えるワークショップ

~札幌の環境のこれから~



13:00~16:30(予定)

北海道大学学術交流会館第1会議室 (札幌市北区北8条西5丁目)

札幌市では、「札幌市環境基本計画」を平成 10 年 7 月に策定(平成 17 年に一度改定)し、環境問題へ の対応を進めて参りましたが、計画期間が平成29年度に終了することから、環境に関する社会情勢等を 踏まえながら、次期計画となる「第2次札幌市環境基本計画」を策定することとしております。 この度、当該計画の策定にあたり、これからの札幌市の環境や、市民の環境活動などについて、幅広い世 代の方たちから意見を伺うため、下記のとおりワークショップを開催することといたしました。 せひみなさまお気軽にご参加ください。

プログラム ※プログラムは変更になる可能性もございます。ご了承ください。

- ●第2次札幌市環境基本計画(案)について情報提供
- ②意見交換①~「環境活動に取り組むために必要なことを考えよう」
- 3意見交換②~「環境の将来像をより市民に理解してもらうために」

謝礼

Quo カード (3,000 円分)

定員

100名(応募多数の場合抽選)

その他

- ・託児サービスがあります(事前申込制)。
- ・交通費は各自でご負担いただきますようお願いいたします。
- ・参加ご希望の方は、裏面のアンケートと申込書をご記入のうえ、FAX かメールでお申し込み下さい。
- ・参加が確定した方には、改めて開催にあたっての案内・資料をお送りいたします。

主 催

札幌市環境局環境都市推進部環境計画課 【連絡先】011-211-2877(担当:菊野、佐竹)

運営受託者

株式会社 KITABA 【連絡先】011-522-5070(担当:武田、小川)



ワークショップへの参加をご希望される方は、申込書とアンケートに必要事項をご記入ください。

お名前 (フリガナ):	年代:	性別:	託児希望:有・無
ご住所:		電話番号:	

Q1. ワークショップ当日は、以下の 5 つのテーマごとにグループ分けを行います。ご希望のテーマの番号(①~⑤)を、以下の表に第 3 希望までご記入下さい。

【5 つのテーマ】 ①健康で安全な都市 ②低炭素社会 ③循環型社会 ④自然共生社会 ⑤横断的・総合的な取組

第1希望 第3希望 第3希望

以下の項目はメールまたはお電話でお申込いただく場合は回答不要ですが、ワークショップの参加にご当選された方には、後日電話で聞き取りを行わせていただく場合がございます。ご了承下さいませ。※FAX でお申込いただく場合は、ご記入をお願いします。

Q2. 第 2 次札幌市環境基本計画案では、2050 年の将来像として「環境首都・SAPP」RO」を掲げ、市民一人ひとりが環境保全に対する意識を高め、行動に移すことの重要性について記載するとともに、市民が取り組むべき具体的な行動を『さっぽろエコ市民 26 の誓い』として整理しています。26 の誓いの各項目で、ご自身が取り組むことができているかどうか、お答えください。

26の誓い	できている	できていない
(1)さっぽろの緑地や水辺の自然環境、生物多様性の保全に関心を持ち、保全活動に取り組みます。	1	2
(2)水の効率的な使用を心がけるとともに、使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに きちんと処理します。	1	2
(3)庭や畑、公園など、身近な場所や地域から緑を増やしていきます。	1	2
(4)食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減量します。	1	2
(5)外出時にはマイ箸、マイバッグなどを持ち、使い捨て製品の使用を減らします。	1	2
(6)手入れや修理をしながらものを大切に使い、再利用にも努めます。	1	2
(7)ごみの分別を徹底します。	1)	2
(8)家電製品の待機電力や、使用していない部屋の照明など、電気の無駄な使用を減らします。	1)	2
(9)照明器具や家電製品を省エネ性能の高いものに切り替えていきます。	1)	2
(10)外気や太陽光を取り入れたり、着衣の工夫で、冷暖房の設定温度を見直します。	1)	2
(11)断熱や気密対策など、暮らしの中でエネルギー利用効率を高める工夫を実践します。	1)	2
(12)太陽光発電やペレットストーブ※の導入など、自然エネルギーの活用を進めます。	1)	2
(13)輸送や生産に必要なエネルギーが少ない、地産地消※や旬の食材の購入を心がけます。	1	2
(14)伝統的食品や保存食品を活用し、食の安全と地域の食文化を守り育てます。	1)	2
(15)エコマークやグリーンマークなどの環境ラベルを目安に、環境負荷の少ない製品を選びます。	1)	2
(16)環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開している生産者や販売店による製品やサービスを選択します。	1)	2
(17)徒歩や自転車の積極的な利用により、自動車の使用をできるだけ控えます。	1)	2
(18)市民の共有財産である公共交通を支えていくという意識を持ち、積極的に利用することで更に充実させていきます。	1)	2
(19)自動車を運転する場合は、アイドリングストップなどのエコドライブを実践します。	1)	2
(20)自動車の購入や買い換えの際には、次世代自動車・低燃費車を選びます。	1)	2
(21)家庭や地域で環境保全の大切さについて話し合い、行動します。	1)	2
(22)環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加し、知識を深めます。	1)	2
(23)環境保全活動に関する情報の交換や共有を進め、人のつながりを広げます。	1)	2
(24)世界で起こっている環境問題と私たちの生活との関連を考え、解決に向けてできることから行動します。	1)	2
(25)環境をテーマとする国際交流や国際協力に、積極的に参加します。	1)	2
(26)"さっぽろ雪まつり"など札幌市が世界に誇るイベントを通じて、札幌の取り組みを世界に発信していきます。	1	2

※ペレットストーブ:間伐材など未利用の生物資源を加熱圧縮し、小粒にしたものを燃料とした暖房器具。
※地産地消:住んでいる地域で生産されたものを、その地域の人が消費すること。